

令和5年(2023年)度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：全国農業協同組合中央会

協定締結日：令和3年(2021年)10月4日

活動状況：継続中

連携先窓口：JA全中 広報部 広報課 杉田 陸弥 様

活動資金：アイテムを選択してください。

担当教員(所属)：上岡美保(国際食農科学科)

活動体制(単位)：アイテムを選択してください。

関連教員(所属)：

活動目的：

若年齢階層を中心とした国民への食と農の理解の啓発に向けた広報支援、活動等。

活動内容・成果：

①国消国産の日に向けた学生への啓発

国消国産のクリアファイルを3キャンパスの全学生に配布して啓発

内容：学生・院生対象に約10,000部のファイルを配布して啓発

②JA全中・毎日新聞社共催の全国高校生農業アクション大賞開催

・東京農大の後援

・本学教員の審査委員としての参画(国際食農科学科 上岡美保)

内容：全国の高等学校を対象に、地域と連携した食農の活動を審査し、表彰する。

全国から50校以上の応募があり審査し、支援対象校15校を選定。

また3年前に審査で選ばれた15校の成果報告を審査し、優秀校を選定、秋に成果発表会を実施して最終審査を行った。

2023年11月6日、如水会館にて開催、高校生約30名、関係者約30名が参加。

③毎日農業記録賞

・JA全中とともに本学が協賛として参画

・学長が審査委員としても参画(江口文陽 学長)

④JA全中を通じて、国消国産イベントへの協力

・JA香川県「家の光大会」にて、「国消国産」をテーマにトークイベント開催(国際食農科学科 上岡美保)

内容：2023年11月10日、中野美奈子氏とのトークセッション、参加者約500名、香

川県レグザムホールにて開催

⑤JA 全中・NHK 等共催の日本農業賞開催

- ・本学教員の審査委員としての参画（国際食農科学科 原 珠里 教授）

上記の活動を通し、若年齢階層の国民への啓発活動及び食農の重要性を全国農業協同組合中央会及び東京農業大学が協力して広報することができた。また、若い人材育成の一環としての活動もある程度成果があったと考える（高校生のアクション大賞の受賞者等からは、本学への進学者も出ている）。